

|                                                                                                         |                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 科 目 名：骨学・筋学                                                                                             | 講義回数： 16/24            |
| 講義テーマ： 筋学各論（3） 背部の筋                                                                                     | 担当者： 高橋 秀雄<br>解剖学（マクロ） |
| 医学教育モデル・コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版（p.41）<br>学修目標<br>D-4-1) 構造と機能<br>⑦ 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。<br>⑧ 抗重力筋を説明できる。 |                        |
| 求められる事前学習： LMS の課題 1 6                                                                                  | 所要時間の目安・（ 20 分 ）       |
| 求められる事後学習： 特になし                                                                                         | 所要時間の目安・（ ）            |

要点

## 背部の筋 muscles of back

### 背部の筋群

#### ① 浅背筋 [4]

機能：上肢の運動（上肢帯と上腕骨に停止）

神経：副神経と頸神経叢・腕神経叢の枝が支配

##### (浅層) 僧帽筋 **trapezius**

経過：後頭骨、棘突起（頸椎・胸椎）→鎖骨[外側]、肩峰・肩甲棘

神経：副神経＋頸神経叢の枝が支配（胸鎖乳突筋と同じ）

##### 広背筋 **latissimus dorsi**

起始：棘突起（下部胸椎・腰椎）、腸骨稜、下部肋骨、肩甲骨下角

停止：小結節稜（上腕骨）

作用：上腕を後内側方へ引く（上腕を内転させる）（⇔三角筋）

神経：胸背神経（腕神経叢）

##### (深層) 肩甲挙筋 **levator scapulae**

経過：横突起（上位頸椎）→肩甲骨上角

神経：肩甲背神経（腕神経叢）

##### 菱形筋 **rhomboid major/minor**

経過：棘突起（下位頸椎と上位胸椎）→肩甲骨内側縁

神経：肩甲背神経（腕神経叢）

## ② 深背筋 [20]

(浅層) 後鋸筋 (上・下) [2] : 棘肋筋、薄い

経過: 棘突起→肋骨

作用: 胸郭の運動 (呼吸運動に関与)

神経: 肋間神経

(深層) 固有背筋 **muscles of back proper** [9]

範囲: 棘突起の外側を縦走、棘突起を中心に肋骨角まで、

後頭骨から仙骨まで、特に腰部で発達

筋膜: 胸腰筋膜 **thoracolumbar fascia** で前後から包まれる [腰背腱膜]

作用: 頭・頸・体幹の運動

神経: 脊髄神経後枝

(深層): 回旋筋、横突間筋、棘間筋

(中間): 半棘筋、多裂筋、肋骨挙筋

(浅層): 腸肋筋、最長筋、棘筋 (脊柱起立筋 **erector spinae**) (⇔腹直筋)

<sup>カシ</sup>項の筋 (固有背筋) [8] …頸神経後枝

(深層): 後頭下筋 [4] (大・小後頭直筋、上・下頭斜筋)

頭関節: 環椎後頭関節+環軸関節

後頭下三角: 大後頭直筋+上頭斜筋+下頭斜筋

(後頭下神経 [C1 後枝]、環椎後弓、椎骨動脈)

(中間): 半棘筋 (頸・頭) [2] (横突起→棘突起・後頭骨)

(浅層): 板状筋 (頸・頭) [2] (棘突起→横突起・後頭骨)